

ASAGOiNG

2017.09 no.5

Index

ASAGOiNG

朝来市の人と、まちと
エデュテイメントリゾートASAGO
大畠洋平さん

ACTiNG

朝来市で活動する
山東新生まちづくりの会「おきなれよ」

WORKiNG

朝来市で営む、働く
株式会社ニック

ASAGOiNG

朝来地域

YOU ARE THE FUTURE OF OUR TOWN!

TAKE FREE



新しき開拓者

新しい自分の発見

学校でも特に目立つわけではなく、どちらかというと引っ込み思案だった大畠さんを大きく変えたのが、高校時代に参加した10泊11日の野外キャンプだった。すっかり野外活動の虜となった大畠さんは、高校3年生で同キャンプのボランティアスタッフになり、学校生活においても生徒会に入るなど積極的な性格に。「野外活動を通して、自分にも光が当たることを見つけた。」自然の中でアクティビティ＝「挑戦を繰り返す体験」を積み重ねることで、自分に自信がついていったのだ。就職後もアイスブレイキングや野外活動プログラム、社会教育に携わり、インストラクターとしての技術を深めていった。

アクティビティという魅力を人へ

アクティビティという名の木や崖を登ることも、はまたまたマウンテンバイクに乗ることも、そこに決められたやり方があるわけではない。そもそも必ずやらないといけないことでもない。ただそこにある事に対して無意識に自身の好奇心や気持ちが動き、立ち向かうのか向かわないのか、立ち向かうのであればどう取り組むのかはすべて自分次第。だからアクティビティをすることは、「今まで知らなかった新しい自分をどんどん引き出してくれる“セルフディスカバリー”の時間になる。」と大畠さんは考える。アクティビティの魅力を生かし、誰かにとどてもまた人生のプラスの経験となるよう、今年、エデュテイメントリゾートASAGOでアクティビティマネージャーに就任。子どもたちに対しては、「本人たちの気持ちに残ること」を一番大切に、しんどいところへの無理強いはせず、ゴールも決めない、本人が納得できるまで挑戦できる環境をつくっている。



エデュテイメントリゾートASAGO
【所】朝来市八代100-1 【問】079-678-9050
HP>>www.edr-asago.jp

1つ1つの体験を、人生に

実は大畠さんが朝来市にたどり着いたのは今年の話。生まれ故郷は山口県。これまで山口県での活動がメインだった。そしてインストラクターとしての技術を高める73日間の冒険教育リーダー育成研修は長野県で修了した。また、「人に何かを教えるには自分に経験がないと教えられない。」との考えから、これまでに営業職、林業、製造業、運送業などの様々な職を経験。「できないと思ったらとりあえずやってみる。考えてみる。そしてまたやってみる。」アクティビティがPlan(目標設定)→Do(行動)→Check(検証)→Action(再度実行)＝“PDCAサイクル”の中で自己成長を促すように、大畠さんの人生もまたPDCAサイクルを意識してきた。そうして自ら環境を変え、挑戦していくことで、本当に目指したい道へ進むことに決めたのが今だった。朝来市に来てまだ1年も経っていない。しかし、色んな人に出会い、地図を片手に朝来市内を探検し、朝来市の自然を生かしこれぞれ自身ができる事・したいことを、宝探しに近い感覚で探っている日々だという。「遠くを見ると山が幾重にも重なっていて、遠近感がわかりすごく景観が良い。谷が深いから水も豊富。自然体験が十分できる環境が残っている。この環境の良さを伝えながら、この地域に体験学習を定着させたい。」と語った。

考えることが時にとてもしんどくなり、投げ出したくなることもある。しかし、考え方向き合うから次があるということを忘れてはいけないと感じた。今よりももっと素敵な自分に出会うために。

アクティビティで楽しい学び!

エデュテイメントリゾートASAGOはミドリ電化(現:エディオン)の研修センター跡地を再活用し、雲海と星空のホテルとしてスタートしました。そのコンセプトは“EDUCATION(教育)×ENTERTAINMENT(遊び)”。山の上の方にあるこのホテルでは、目の前に山々の絶景が広がり、開放的で静かな空間となっているため、流れる時間を穏やかに味わう事ができます。はたまた、周辺の自然環境の中で思いっきり体を動かし、今までした事のない挑戦することもできます。心の赴くまま過ごすこと。そんな時間の中に、子どもにとどても、大人にとどても、“楽しい学びが散りばめられている場所”それがエデュテイメントリゾートASAGOです♪



原体験としてのツリーカラーリング

自分の力で登っていく昔からの木登り。人間としてなぜ木に登るのか、登った先に何があるのか、そんなことを感じてほしい体験です。

ロックカラーリング

ブロック積みの斜面を登っていく。やっしゃいけないこと、普段できないことを味わえる。一見、「そんなの簡単だよ！」と思っていても「案外、実はできない」を学ぶ機会に。※特別に許可を得ています。

マウンテンバイク

最新型のマウンテンバイクに乗って、好きなところを好きなように、好きなだけ走る。自分が納得するまで挑戦できる。付きっきりでガイドも可能です！

フィールドbingo

山の中を散策しながらコケなどの植物を探したり、山椒の匂いを嗅いでみたり。最初は虫が掴めない子も、へっちゃらになってしまって帰ってくる。本物に触れる、だから理解が深まる体験に。



1 自然の中で家族時間

なんといっても1部屋1部屋が広々しているから家族連れにはゆったりと嬉しい♪大人はゆっくり、子どもはアクティビティへ!なんて別行動することもできる。夜は家族団欒の時間を。



2 会議やゼミに仕事時間

施設内には最大150名の研修が可能な大研修室と約15~20人の小研修室が5室あります。ちょっとしたミーティングから、分科会、大学のゼミ合宿や会社の研修など使い方は様々です。



4 自分のペースで自分時間

泊まらなくてもカフェスペースで自分の時間を過ごす事も可能。Wi-Fiも完備だから1人作業もはかどりますよ！作業に疲れたら、施設内外の至る所にあらハンモックにゆられてリラックス♪

その他にも…

こんな時にエデュテイメントリゾートASAGO!



ACTiNG

朝来市で活動する

山東新生まちづくりの会
「おきなれよ」(山東町)

MORE INFO

tel >> 079-676-2046
fax >> 079-676-4244
Mail >> okinareyo@gmail.com
事務局 >> 朝来市山東町矢名瀬町663

(右→左)
太田富士夫さん／天野浩次さん／
西浩一郎さん／宮谷泰史さん／
中島英樹さん／藤尾泰彦さん

Wake up, Get big!



—空き家とまちを活用して

具体的な活動内容は多岐にわたり、地元の酒蔵(竹泉の醸造元:田治米合名会社)でプロの音楽家による酒蔵音楽会の開催や、空き家を改修し作られた“矢名瀬陣屋”では時計やレコードなど昭和レトロなものに囲まれ、真ん中のテーブルに人が集える場所と

山東新生まちづくりの会の前身となった地域でのイルミネーション事業が始まったのは平成14年。朝来郡4町の合併を前に、山東町のこれからがどうあるべきか考え生みれたプロジェクトでした。阪神淡路大震災が起こった際、いち早く被災地支援に向かった山東の人々。その魂を“残したい”、地域が衰退していくのではなく“大きくなってほしい”、そしてそんな未来のために“立ち上がってほしい”との思いから、地域の方言「おきなれよ」を合言葉に続けられたそのプロジェクトは5年目で1つの節目を迎えました。事業が終わってからも「まちなみを中心に地域を活性化させたい。」との思いからワークショップを開催。30名ほどの参加者とともに地域資源を発掘していくと、地域に鉄道グッズやミニカー、骨董品や古錢などそれぞれの趣味で集めモノをしているコレクターが多いということに気が付いたそうです。ならばそれを丸ごと地域資源にしよう。1人でニヤーっとしていることを、みんなでニヤーっとしてもらおう!そこで山東新生まちづくりの会を発足しました。(太田さんの話より)

なりました。また空き店舗を活用し、お好み焼屋の復活オープンや、鉄道などの昭和のコレクション品を常時展示するミニミュージアムも。さらに“夢街道復活フェスタin矢名瀬”という、ミニSLの試乗会や昭和展、食べ物の屋台を準備し、地域全体を昭和にタイムスリップさせたようなお祭りイベントも開催しています。

—プロジェクトを通しそれぞれが感じること

天野さん:通学路にある“矢名瀬陣屋”は、毎日近所のお年寄りが5、6人やって来て、自然と子どもたちの見守りの基地にもなっています。西さん:お好み屋さんができたことで一次会をするお店ができて嬉しいですね。

藤尾さん:これから先も人の繋がりは残していくってほしい。この活動をしていて一番よかったことは色んな人に知り合えたこと。ここでない限り合えなかった人がたくさんいる。

宮谷さん:若い人でもまちに関わりたいという思いが強い人が多い。だからこそ会に縛られるのではなく、気軽に地域に関わることができるとができる登録制バイトのようなことができたら、「気付いたら一員になっていた。」というよう若者へ繋げていきたいです。

中島さん:今まで色々と移り住んできて、自分には“ふるさと”というものがない。大事にしていこうと思える故郷がある人が羨ましかった。しかし活動を通して、自分の子どもにとってそういう“ふるさと”をつくれることが嬉しいです。



WORKiNG

朝来市で営む、働く

株式会社ニック(生野町)

楽しくものづくりを

—西垣陽介さん(営業部 部長／30代)

創業は明治時代。印刷物は名刺から書籍まで様々な種類があるが、ニックでは幅広く取り扱ってきた。その中でアパレル関係のカタログやDMの依頼も多い。アパレル関係のお客さまは“高い品質で、他とは違ったものを表現したい”との想いがあり、色味や紙質へのこだわりが特に強い。「だからニックにとっても挑戦になる。」と西垣さん。お客様と一緒に印刷物を創り上げる中でノウハウも蓄積され、顧客も自然と広がっていった。「困ったらニック」という声も。今では半数以上が東京のお客さんになった。しかし、ただ会社を大きくすることに興味はない。東京でも通用する技術を活かして、大切な地元で思い入れのある仕事をしていくこと、それが大きなモチベーションに繋がり、満足感を高めながら楽しく働き続けることができる会社でありたいと願っている。

“諦めない心と向上心が

お客様の想いを形にする仕事

—加藤純一さん(営業部／20代)

「もともとファッション雑誌や本が好きで、自分の好きな物に携わる仕事がしたい。」という思いから、現場で印刷オペレーターとして印刷業に携わると、この仕事の難しさを感じる。ほとんどの色がCyan/Magenta/Yellow/Blackの4色で表現できるが、お客様の要望を忠実に再現するには、気温や湿度によって印刷機の微調整が必要になる。ある時は、色校正でOKが出た印刷物を本番で印刷する際、何度も挑戦しても、同じ色が出せない事もあった。諦めず日々勉強する中で多くの知識や経験を身に付けることができた。現在は営業部へ異動した加藤さん。「オペレーターを経験したからこそ、よりお客様の想いを印刷物に繋げることができる。お客様の要望に対して、足を軽く、柔軟に動ける人でありたい。」その心意気が顧客の満足度へ繋がっているのだろう。

加藤さんの一日

5:00	起床
6:00	朝食、準備、育児
7:00	出勤 子供を保育園へ
8:00	
9:00	
10:00	仕事
11:00	
12:00	昼食
13:00	
14:00	
15:00	
16:00	仕事
17:00	
18:00	
19:00	帰宅
20:00	子どもたちとお風呂、夕食
21:00	寝かしつけ(1歳の双子)
22:00	寝かしつけ(3歳)
23:00	フリータイム
23:30	就寝



営む人
西垣さん

働く人
加藤さん

ASAGOiNG

朝来地域(朝来)

気付いたら
仲間が集まっている
だから“新しい”が
どんどん生まれる

朝来地域は、山口小学校と中川小学校の2つの小学校区で構成され、朝来市の中でも広い地域です。そんな朝来地域は実に多様な地域で、山間で“自然の中で楽しむ”を満喫できる地域もあります。朝来市特産“岩津ねぎ”的産地として、農業と暮らしが密接に関わる地域もあります。また、中には若い人の移住が増え、地域での助け合いや新しい取り組みが生まれることも。どの地域をとっても個性豊かな朝来地域だからこそ、それぞれの“場所”がもつ良さを生かした“コト”を始める人が集まっています。



日本遺産に認定! 神子畑選鉱場跡

朝来地域の佐義にある神子畑選鉱場跡(c)はかつて、善父市にある明延鉱山から産出される鉱物の選鉱施設として建設されたそうです。大正に鉱山が閉山した後、大規模な機械選鉱場として生まれ変わり、昭和62年まで稼動。その規模は東洋一と謳われるほどでした。今でも残る壮大な跡地からは当時の音が聞こえてきそう。春には多種の桜が咲く桜祭りも開催しています!



あさごキッズタウン SUMMER

あさご・ささゆりホール(a)周辺で毎年1回開催されるあさごキッズタウン。5年前から「都会に出なくても、朝来市で子どもたちに様々な職業体験をしてもらおう。」と朝来地域自治協議会(b)が有志の方と連携して手作りをしてきたイベントです。今年はケーブルテレビ局員や獣師、配達員、探偵、デザイナー、工芸士、看護師などなんと22ブースが参加。現職の方やお母さん方のスキルをフル活用し、誰もが憧れる職業から、朝来ならではの仕事まで盛りだくさんの体験が出来る日となっています♪またこのイベントに参加をした小学生が、中学生になりボランティアとして戻ってくる事も。嬉しい循環が生まれています♪



EVENT



地域のおいしい特産品 “岩津ねぎ”

岩津地区(d)発祥の岩津ねぎ。青葉から白根まで丸ごと食べられる岩津ねぎは、ねぎ嫌いの子どもでも食べられるほど、甘くてトロトロなんです♪高齢化に伴い岩津ねぎ生産者が減少傾向にある中、「岩津ねぎを絶やすまい」と頑張っている農家さんはたくさんいます!11月23日解禁日、3月20日終了の季節もの!焼いて最高!揚げても絶品!何にしてもよし!の幻のねぎを一度食べてみて下さいね♪



ECOに暮らす “マイエンザ”のある生活

朝来地域自治協議会(b)で取り組んでいるマイエンザは、お湯・砂糖・ドライイースト・ヨーグルト・納豆で作られた環境浄化微生物です。使い方は様々!まな板や排水溝のお掃除に、湯船に入れると湯ざめせず、肌にもやさしい♪消臭効果を生かしトイレ掃除にも抜群。マイエンザに含まれる微生物の力で体と環境に優しく汚れを分解するのです。朝来自治協では無料配布しています!Let'sあさごdeエコライフ♪

朝来ふれあい元気まつり AUTUMN

竹とんぼづくりなどの体験コーナーやあさご鍋などの特産品試食コーナー、さらに地域の方々によるバザーなども行われる楽しいイベント。あさご・ささゆりホール(a)内では、



コーラスなどの舞台発表“あさご劇場”も行われます。子どもから大人までみんなで賑わう1日となっています!あなたも是非足を運んで、その楽しさにとけ込んでください!

PERSON of ASAGO

椿野さん



20代の頃から商工会青年部や一般社団法人南但青年会議所(JC)に参加していた椿野さん。ある日、先輩の変化に影響され、自身の仕事や地域への向き合い方が変わった。現在は立野の地域組織“立志の会”にも属し、仲間と地域のこれからを考える。「過疎化させないために大切なのはその地区に移り住んだ人の実際の感想です。」立野は今、人が増えている。同世代が多く、友達もできる、子どもも多いといった“住んでみた感想”が人を伝い、誰かにどての“住みたい理由”に変わっているのだ。そんな地域で今椿野さんが力を入れているのは後輩を育てる事。「会議室で話していくものはじまらない。自分がスイッチを入れてもらった人だから、今度は誰かのスイッチを入れたい。大変を感じる前に、何をするか、何をしたいか。一緒に楽しみながら、そんな関係性を築いていきたい。」

羽渕さん



もともと自然や虫が大好きな羽渕さん。自然や朝来の良さを知ってほしいとの思いから、エデュテインメントリゾートASAGO(P2)にアクティビティ担当としてこの春転職した。また仕事のみならず、地域活動にも励んでいる。その1つがあさごキッズタウンの開催だ。5年前、「出産を機に仕事を辞めたママのスキルを生かしたい。」朝來の子どもたちに将来帰ってきたと思える職業体験をさせてあげたい。」との思いから仲間を巻き込み、全て手作りで始めたキッズタウンは今も大盛況だ。今後もやってみたいことはたくさんある。だからこそ、もっと色々な人に逢いたいと話す。「竹田城だけじゃない。朝来と言えば“あそこやん!”っていうのをみんなで作りたい。」

荒川さん

「子どもが喜ぶ事がしたい」「町もっと関わってみたい」そう思っていた矢先、友達から声がかかり、あさごキッズタウンにスタッフとして参加。「子どもの笑顔と感激する姿にやってよかった。」と思った。勤め先である農協の方の姿に影響を受け“やってみたい”が大きくなった。今後は農業や農家さんとも関わっていけたらと話す。「主婦の生活が長かったから、いろんな挑戦で新しい事が知れる。活動や仕事で遅くなる事もある。家族や友達、近所の人、みんなの助けがあったからできた。やりたいと思ったら続けるというよりも、1回限りでもやってみる。そして家族にも納得してもらえたから。ママであること、1人の“人”であることも大切にしながら。」



中尾さん

子育て絵本アドバイザーや絵本セラピストの資格を持つ中尾さん。絵本にはまったきっかけは、子どもとどう接したらいいか悩んだ時、絵本に救われたからだった。また絵本には隠れたメッセージがあったり、ふと自分と重ね合わせたりと、大人が読んでも面白いことに気付いた。現在は朝来地域自治協議会(b)の仕事の傍ら、小学校での読み聞かせボランティアや大人向けの絵本セラピー講座などを開催している。参加者からは「絵本を通して自分を振り返る時間になってよかったです。」との感想も。絵本を通して変化したのは参加者だけではない。「人前で話すのが苦手だった私が、絵本に出会い“こんな私でも出来ることがある！”と自信がもてるようになりました。」と話す。



朝来地域について

面積:約130.2km²
人口:5,901人
(住民基本台帳:H29.2月末)

お問い合わせ(朝来地域自治協議会)

079-677-1165(朝来市役所朝来庁舎)
Mail >> asago-jichikyou@asago-net.jp
Blog >> asago-jichikyou.cocolog-nifty.com/blog

EVENT INFO

ASAGOiNGなイベントをご紹介！

あさご暮らし体験会in神戸

いつもは、朝来市で開催している「あさご暮らし」体験会。田舎料理を地元のおっちゃん、おばちゃんたちと一緒に作り楽しく交流。神戸で「あさご暮らし」の雰囲気を味わっていただけます。先輩移住者の声も聞けますよ。

【日時】10月29日(日)10:00~15:00

【場所】シェアスペース& キッチン マルメロ
(神戸市中央区元町通1-7-2 ニューもとビル5F)

【費用】大人2000円、子供(中高校生)1000円
※小学生以下無料

【問・申込】079-672-1492
(朝来市役所あさご暮らし応援課)

朝来ふれあい元気まつり

竹とんぼづくりなどの体験コーナーやあさご鍋などの特産品試食コーナー、さらに地域の方々によるバザーなども行われる楽しいイベント。あさご・ささゆりホール内では、コーラスなどの舞台発表"あさご劇場"も行われます。

【日時】11月3日(金)10:00~14:00

【場所】朝来市役所朝来支所前広場
【問】079-677-1165
(朝来市役所朝来支所地域振興課)

朝来市起業人財交流拠点(仮称)

平成29年10月オープン

「天空の城 竹田城跡」の麓にある旧竹田保育所が起業を志す人財の交流拠点に生まれ変わります。拠点内には、工房・シェアオフィススペースがあり、あなたのワークスタイルにあった働き方ができるかも?!随時、利用相談を行っていますので、お気軽にご連絡ください。

【問】090-5097-3740
(TRUSS代表 松本智翔)
079-672-1492
(朝来市役所あさご暮らし応援課)



まちは全て、誰かの「やってみよう」からできています。
特にオープンマインドな朝来市は、「やってみよう」が多いまち。
目を凝らせば、あなたの周りにも「やってみよう」がいっぱい見つかるはず。
何かを頑張っている人を見ると、ちょっと嬉しい。
そんな人を応援できたら、もっと嬉しい。
自らやろうと思って実現できたら、そりゃもう毎日が楽しくなる。
そんなあなたの「やってみよう」を応援しています。

少子高齢化、人口減少が進むなかで、朝来市の次の10年、20年を創りあげていく若い人たちに、「このまちが好きだな」と思ってもらいたい。好きになって住み続けてもらいたい。そんな「気持ちに届く」シティプロモーションが「あなたはまちの未来 ASAGOiNG」。他の誰でもない市民一人ひとり、「あなた」が主役となって朝来市の魅力を届けるシティプロモーションを目指しています。



ACCESS

自動車をご利用の場合

大阪・京都より約2時間
神戸より約1時間30分

鉄道をご利用の場合

大阪・京都・神戸より
特急で約2時間

あとがき

今号の取材では出身地である朝来地域を廻りました。「あさごキッズタウン」の取材では同級生2名とばったり遭遇。それがきっかけで、PERSON of ASAGOのコーナーにご登場いただくことになりました。また「山東新生まちづくりの会」のメンバーに中学時代の恩師がおられて、思わぬ形での再会となりました。近況を知らないだけで、実はまだまだ「ASAGOiNGな友人・知人」がいるんじゃないかな…そう考えるとわくわくします。朝来市、すごいまちです。(木村)

発行日:2017年9月5日

発行元:朝来市あさご暮らし応援課 TEL 079-672-1492

〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213-1

企画／編集:Team ASAGOiNG

テキスト:SHIHO

アートディレクション／デザイン:木村淳